

千葉商科大学 プレスリリース

全国から1,093件の「㊟がつくひらめき」 「サービス創造大賞2018」受賞者決定！

千葉商科大学(学長:原科幸彦)サービス創造学部(学部長:今井重男)は、「サービス創造」の重要性を広く社会に認識していただくことを目的とした「サービス創造大賞2018」について、学部公式サポーター企業(学部教育への協力協定を結んだ企業)ならびに本学審査委員会による厳正なる審査の結果、受賞アイデアを決定しましたので、別紙のとおりお知らせします。

審査結果の詳細は、千葉商科大学「サービス創造学部」Web ページにて発表しています。



サービス創造大賞 2018 ▶

第11回目となる同募集企画は、「あったらいいな、こんなサービス」を課題とし、普段の生活でどんなサービスがあればうれしいか、誰かを笑顔にしたり、世の中の困っている人を助けたりよろこばせたりするアイデアを募集しました。「生活を便利で快適にするか」「新しさがあるか」「独創性があるか」「わかりやすいか」「実現できそうか」「社会に役立つか」という発想を取り入れた優秀なアイデアを募集しました。

今年度7月から受付を開始し、集まったアイデアは1,093件にのぼりました。

受賞アイデアは、大賞1点、準大賞1点、優秀賞2点、高校賞9点です。

大賞は、「顔認証定期サービス」(田中朝陽さん:北海道札幌東商業高等学校2年)が選ばれました。

「顔認証定期サービス」は、通学・通勤時に定期券を忘れてしまい切符を買わなくてはならなかった、改札前で定期券が見当たらず人の流れを止めて迷惑をかけてしまった、という経験から生まれたアイデアです。定期券購入時に顔認証登録をし、定期券がなくても改札口をスムーズに通れるようにするサービスで、定期券の悪用防止としても効果が見込まれると提案しました。

【「サービス創造大賞2018」Web ページ】

http://mit.prof.cuc.ac.jp/fsiblog/taisyo_2018

サービス創造大賞 2018

検索

<本件に関する問い合わせ先> 千葉商科大学 戦略広報センター
〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1 TEL: 047-373-9968 E-mail: p-info@cuc.ac.jp

※年末年始休業については、本学 Web サイトをご確認ください。

90th

高徳の実業人を創る。
千葉商科大学創立90周年

CUC
Chiba University of Commerce

千葉商科大学

www.cuc.ac.jp

サービス創造大賞 2018 受賞アイデア一覧

応募総数 1,093 件

★大賞（奨学金 10 万円）

■タイトル：「顔認証定期サービス」 北海道札幌東商業高等学校 2 年 田中朝陽さん

このサービスは定期を忘れてしまい「本当は持っているのに、自腹で交通費を払わなくてはならない」という現象や「改札前まで行っていざ通る時に定期が見当たらず人の流れが詰まってしまう周りの人に迷惑をかけてしまう」という現象を解消するサービスです。定期を買う時に顔認証をしておけば改札口をスムーズに通ることができ、また定期を持たないため落とされてしまったて誰かに悪用されるということもなくなると思います。定期を「買う」のではなく「登録」という形で「もの」から「サービス」にできたらいいと思いました。

★準大賞（奨学金 5 万円）

■タイトル：「高齢者ドライバーを守る」 千葉商科大学 1 年 松崎大成さん

私は、話題になっている高齢者ドライバーのことについてのサービスを考えました。高齢者ドライバーの事故や運転者に何かあった時のために車を高齢者が運転する場合は、ドライバーの心拍数や様子がわかる装置を車に備えるのが良いと思う。高齢者ドライバーの心拍数や様子が異常が発生すると分かると自然と車のスピードが減速して、ハザードランプが点滅するようにすれば、最悪の事態を回避することができると思う。車の操作をミスしてしまうことは、1 番は高齢者が車を運転しないことが良いと思うがそれは難しいので、車が高齢者に対応して行くことで少しでも事故の危険性を減らすことができると思う。

★優秀賞（図書カード 2 万円相当） 2 点

■「安心・安全お知らせくん」 新潟県立五泉高等学校 3 年 諸橋明香里さん

最近、視覚障害者の事故のニュースをよく見ます。国土交通省や鉄道会社は転落防止にホームドアの設置を急いでいるが、設置されていない駅では被害が繰り返されているそうです。そこで考えたものが『お知らせくん』というサービスです。これは、駅ホームの天井にカメラを置き、そのカメラに反応するリストバンドをつけている人が危ないところにいたら危険を知らせてくれるものです。危険だと判断されたら、無線でリストバンドに連絡がいきます。リストバンドからはスピーカーで「左によってください」など安全な方へ導いてくれます。また、遅延の情報を教えてくれる機能を取り付けることによって、ホームにずっといる危険性も省けると思います。

■「私の専属コーディネーター」 千葉商科大学 1 年 白鳥亜美香さん

私のあったらいいなと思うサービスは自分の服を選んでくれるサービスだ。なぜこのサービスがあったらいいなと思うかと言うと毎日自分の服を選ぶのに時間がかかるからだ。例えば次の日大切な予定があるがどのような服を着ていけばいいか迷う時がある。その時ファッションに知識のある人に聞くことが出来たら自信を持って出かけることが出来る。また結婚式や何を着ていけばいいのかわからない用事が急に出来ることがあるが、その時にも相談できたらいいと思う。そのサービスは例えばアプリケーション化したファッションコーディネーターサービスとし、美容学生や、知識のある人に相談できるサービスにできたら良いとおもう。

★高校賞（図書カード5千円相当）9点

■「雨や気温の変化に反応する道」

埼玉県立深谷商業高等学校3年 土屋希々愛さん

■「スマホだけで手話フォン」

北海道札幌東商業高等学校2年 山口祐依さん

■「高齢者用ビデオ通話アプリ」

福島県立若松商業高等学校2年 酒井玲奈さん

■「コインロッカー空き状況確認アプリ」

静岡県立沼津商業高等学校3年 小早川風香さん

■「危険察知ッブ」

秋田県立湯沢翔北高等学校1年 沼倉千紘さん

■「安心したい」

北海道岩見沢緑陵高等学校2年 村上楓佳さん

■「時間を有効に」

北海道深川東高等学校1年 西村理乃さん

■「外国人に向けた防災アプリ」

群馬県立前橋商業高等学校3年 阿部亘汰さん

■「曇らない眼鏡」

立命館慶祥高等学校1年 村山隼介さん